

まほろば秦野通信

平成29年8月23日

秦野市市長公室広報課

タイトル	盛況につき今年で35回目 平成29年度「市民大学 専門学習塾」の開催について
When (いつ)	9月30日から10月28日までの毎週土曜日
Where (どこで)	市立図書館（秦野市平沢94番地の1） 視聴覚室
Who (だれが)	図書館と東海大学の提携事業
What (なにを)	東海大学教授、准教授を講師に招き、市民を対象に大学の講義のような専門的な講座を開講します。
How (どのように)	<p>講義1 伊勢物語の世界 ～<昔男>の物語をよむ～ 講師 文学部日本文学科 下鳥朝代准教授 9月30日（土曜日、1回）午後1時30分～午後3時</p> <p>講義2 龍之介の子規 ～正岡子規を読む芥川龍之介～ 講師 文学部日本文学科 伊藤一郎教授 10月7日（土曜日、1回）午後1時30分～午後3時</p> <p>講義3 明治の作家と口絵・挿絵 ～文学と美術の関わりから～ 講師 文学部日本文学科 出口智之准教授 10月14日、21日、28日（土曜日、全3回）午後1時30分～午後3時</p> <p>講義4 萬葉集の世界16 ～万葉リゾート～ 講師 文学部日本文学科 志水義夫教授 9月30日～10月28日（毎週土曜日、全5回）午後3時10分～午後4時40分</p> <p>対象 市内在住、在勤または在学で高校生以上の方。 募集定員 各講義80人（申し込み先着順） 費用 資料代として、講義1は、200円（1回分）、講義2は、200円（1回分）、講義3は、600円（3回分）、講義4は、1000円（5回分） 申し込み方法 図書館へ電話申し込み（定員になり次第締切） 9月1日（金曜日）午前8時30分から受付開始</p>
Why (なぜ)	文化、学術、教養にテーマを絞り、市民に専門的な学習の場を提供し、市民文化の向上を目指します。
How much (予算)	講師謝礼 144,000円 消耗品費 2,000円 合計 146,000円
過去の実績	昭和57年度から、名称、実施形態を変更しながら継続して実施しているものです。今回で <u>35回目</u> となります。
今後の取り組み	この機会に、専門的な内容に興味を持ち、図書館資料にもより親しんでもらえる事業を実施していきたい。
問い合わせ	市民部図書館 担当：山口 電話0463(81)7012

平成29年度

秦野市・東海大学提携事業

市民大学

専門学習塾

講義 1

『伊勢物語の世界 ～〈昔男〉の物語をよむ～』

文学部日本文学科 下鳥 朝代 准教授

平成29年9月30日（土曜日・1回）

午後1時30分～午後3時 資料代 200円

講義 2

『龍之介の子規 ～正岡子規を読む芥川龍之介～』

文学部日本文学科 伊藤 一郎 教授

平成29年10月7日（土曜日・1回）

午後1時30分～午後3時 資料代 200円

講義 3

『明治の作家と口絵・挿絵 ～文学と美術の関わりから～』

文学部日本文学科 出口 智之 准教授

平成29年10月14日、21日、28日（土曜日・全3回）

午後1時30分～午後3時 資料代 600円

講義 4

『萬葉集の世界16 ～万葉リゾート～』

文学部日本文学科 志水 義夫 教授

平成29年9月30日～10月28日（毎週土曜日・全5回）

午後3時10分～午後4時40分 資料代 1,000円

主催 秦野市教育委員会・秦野市立図書館

申込み・お問い合わせ 秦野市立図書館 電話(0463)81-7012

講義1 『伊勢物語の世界 ～<昔男>の物語をよむ～』

講師:文学部日本文学科 下鳥 朝代 准教授

(資料代 200円)

日にち	内容
9月30日 (土)	『伊勢物語』を一人の男の一代記の枠組みをもつ物語として理解し、人生の始発である初冠の段、終焉を語る最終段に特に注目しながら、多彩で魅力にあふれた『伊勢物語』を歌と物語の観点からよみます。

講義2 『龍之介の子規 ～正岡子規を読む芥川龍之介～』

講師:文学部日本文学科 伊藤 一郎 教授

(資料代 200円)

日にち	内容
10月7日 (土)	芥川の先生は漱石。先生の大親友であった子規の文章を、意外なほど龍之介はよく読んでいます。芥川が何を子規から学んだかを考えます。

講義3 『明治の作家と口絵・挿絵 ～文学と美術の関わりから～』

講師:文学部日本文学科 出口 智之 准教授

(資料代 600円)

日にち	各回テーマ	内容
10月14日 (土)	江戸から明治へ—転身した戯作者たちと絵画—	口絵や挿絵といった絵画から、江戸と明治の連続性・不連続性を考えます。
10月21日 (土)	明治の文学と絵画—木版多色摺口絵を中心に—	明治中期の文学作品にまつわる口絵や絵画を取上げ、作家と絵師の営みを考えます。
10月28日 (土)	挿絵画家という存在—その葛藤と相剋—	明治から大正、昭和へといたる挿絵画家たちの変遷を概括します。

講義4 『萬葉集の世界 16 ～万葉リゾート～』

講師:文学部日本文学科 志水 義夫 教授

(資料代 1000円)

日にち	各回テーマ	内容
9月30日 (土)	北の宿から (368～370)	越の国に出張した大宮人の歌です。
10月7日 (土)	春日の女 (371～374)	山部赤人が平城京郊外、春日野で詠んだ歌を中心に。
10月14日 (土)	吉野の女 (375～378・385～387)	万葉の時代、神仙境に見立てられた吉野の歌を集めました。
10月21日 (土)	筑波登山 (381～384)	筑波山に登って詠まれた歌です。
10月28日 (土)	神を祭る (379・380・388・389)	大伴氏の氏神さまの歌と旅の歌群のしめくり。

- 場 所 秦野市立図書館2階視聴覚室
- 対 象 秦野市内に在住、在勤または在学の高校生以上の方。
- 定 員 各講義80人。定員に達し次第、締め切りとなります。全講義を受講することもできます。
- 申し込み 図書館【0463-81-7012】へ、お電話でお申込みください。9月1日(金)午前8時30分、受付開始です。